

特別養護老人ホーム  
「ひまわり園」

介護福祉士 久保真祈子さん

鹿児島市犬迫町に昭和43年4月、県内で最初に開設された特別養護老人ホーム「ひまわり園」で、介護福祉士としてご活躍中の久保真祈子さんを今回訪問しました。

就職のきっかけ

以前から「介護に関わる仕事をしたい」と思っておりましたので、専門学校に入り、2年間介護福祉について学びました。

専門学校在学中の平成17年8月、県社会福祉協議会主催の「福祉保健医療職場就職ガイダンス」に参加して面談を受け、翌年の4月に採用となりました。

就職について

特別養護老人ホームの仕事は、専門学校での現場実習やボランティア



活動で体験していたものの、いざ働いてみると不慣れなことが多く、ゆとりを持って仕事が出来ずに、戸惑ったり落ち込んだりすることも少なからずありました。しかし、良き先輩、同僚に恵まれ、いろいろと助けていただき、今は利用者の方がたの笑顔や「ありがとう」の言葉にも支えられ、毎日、やりがいを感じながら仕事をしています。

知恩報徳 ~人は恩の海に住む~



社会福祉法人 中江報徳園  
特別養護老人ホーム ひまわり園  
鹿児島市犬迫町5407番地2



毎日の仕事

早出、遅出、夜勤の三交代制となつています。しごとの内容は「食事・排泄・入浴」の三大介護が中心です。また、利用者の方がたに、楽しく生き生きとした毎日を過ごしていただけるよう、レクリエーションや行事等にもいろいろ知恵を絞っております。

心がけていること

- 一 利用者様に、いつも明るく笑顔で接すること。
- 二 利用者様の気持ちを大切に常に思いやりの心を持つこと。
- 三 利用者様のこれまでの人生を知り、その歴史を尊重する姿勢を持つこと。
- 四 職場のチームワークを大切にすること。

上司の感想

明るく真面目な性格で、何事に対しても意欲的に取り組んでおり、利用者の方から、よく声がかかり、人気があります。今後は、更に能力を磨いて、介護員のリーダーとして育て欲しいと思います。ただ、一生懸命すぎて、無理をしてしまう部分があるので、心配は健康面だけです。



平成19年度  
介護支援専門員実務研修  
562人が受講

平成19年度介護支援専門員実務研修受講試験に合格された方を対象に、1月15日(火)から2月28日(木)の間に実施しました。

この実務研修は、介護支援専門員になるために必要な知識および技能を修得するための研修であり、前期課程(4日間・25時間)・実習・後期課程(3日間・21時間)の全課程を終了することにより、介護支援専門員となることができます。

今年度は介護保健法の一部改正による、介護支援専門員証更新研修対象者も参加しました。

実務研修を受講した参加者からは、「ケアマネジャーとして、利用者一人ひとりのことをよく考え、利用者が主役であることを忘れてはならない。」「利用者の真のニーズを引き出すことの難しさを実感した。」「ケアマネジャーは、さまざまな機関と提携しながら、業務を進めなければならない。利用者家族の生活を左右する重要な役割を担っている。」等の感想が寄せられました。